



【発信日】令和4年4月27日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階7番窓口）

地域経済部観光交流課 加藤、澤田

電話 0779-64-4817 内線 1806

衛星電話（現地）090-8967-5974

黄金のヒロイン4ヶ月半ぶりに美しい姿

～麻那姫湖青少年旅行村（春の里）の麻那姫像の雪囲い撤去～

麻那姫湖青少年旅行村（春の里）の麻那姫像の雪囲い撤去を下記のとおり行いますので、当日の取材をお願いいたします。

記

- 日時 4月28日（木）午前9時 作業開始
※ただし、荒天の場合は延期することがあります。（日程未定）
- 場所 麻那姫湖青少年旅行村（春の里）
- 内容 麻那姫像の雪囲いを撤去します。
(参考) 1 1月30日に雪囲いを設置しています。
昨年度は4月20日に雪囲いを撤去しています。
- その他 麻那姫像は令和4年をもちまして建立30年を迎えます。30年を迎えることをもちまして、令和4年度中に像の清掃を行う予定です。麻那姫像の概要については別添資料をご覧ください。

麻那姫像の概要

1. 設置場所 大野市下若生子26字及び27字

2. 建設年月 平成4年7月

3. 事業主体 大野市

4. 事業費 像施工 23,090千円
修景施工 13,878千円

5. 目的 麻那姫は、その昔この地を襲った大干ばつから村人たちを救うため、自らを竜神に捧げようと真名川へ身を投じたと伝えられている、悲しくも心やさしい伝説のヒロインです。

「麻那姫湖」は、昭和52年10月、真名川ダムの完成を機してこのヒロインにちなんで命名されました。以来、心の安らぎの場としても湖畔の整備が行われ、多くの人々に親しまれています。

麻那姫像は、素晴らしい伝説を後世に伝え、満々と清らかな水をたたえる湖の永遠のシンボルとして建立したものです。

そして、この麻那姫湖には、ダム建設によって離村を余儀なくされた316世帯のみなさんの思い出と愛郷心が秘められていることも忘れてはなりません。

6. 像の内容	本 体	青銅鑄物	黄金色仕立て（金箔2回押し）
		高さ3.5m	重さ1,200kg
	台 座	ミカゲ石	縦1.6m 横1.6m 高さ2.53m
	解 説 板	青銅鑄物	縦0.7m 横0.9m
	解説板台座	ミカゲ石	縦0.46m 横0.99m 高さ0.31~1.03m
	敷地面積	1,224.61 m ²	